

(令和4年4月管内情報)

情報

農家への種豚導入の支援を行いました

当センターでは、京都府が作出したブランド豚「京都ぽーく」の生産基盤の強化を図るため、府内養豚農家が他府県から優良系統の種豚を導入する際、府養豚協議会の依頼を受けて導入豚の隔離等の支援を行っています。

この度、府内養豚農家が家畜改良センター宮崎牧場から肉質改良に必要なデュロック種「ユメサクラエース」雌豚3頭を導入することになり、当センターは隔離施設周囲のフェンス設置や消毒等導入体勢の整備を行いました。

隔離期間の3月18日から3週間、家畜保健衛生所が病気の有無や健康状態の経過観察を行い、異常がないことが確認されたため、4月7日に農家に引き渡しを行いました。今後は京都ぽーくの母豚として、活躍が期待されます。



種豚を隔離豚舎に収容 (3/18・左) と府内養豚農家に引き渡し (4/7・右)